参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	（　　）
目標年度	令和12年
市町村名 （市町村コード）	笠岡市 33205
地域名 （地域内農業集落名）	島しょ部 （白石島・真鍋島・高島・飛島・北木島・六島）

1　地域における農業の将来の在り方

（1）　地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	6 ha
①　農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6 ha
②　田の面積	0 ha
③　畑の面積（果樹、茶等を含む）	6 ha
④　区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	－ ha
⑤　区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	－ ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

（2）　地域農業の現状及び課題

農業従事者の高齢化の進行により、農業は衰退傾向にある。

（3）　地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

農漁村の豊かな自然環境を活かした都市住民との交流など、新たな展開を検討する。

2　農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	0　％	将来の目標とする集積率	5　％

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

担い手の確保を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と農地相談員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向に合わせた集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
島しょ部の高齢化率は極めて高く、離島のおかれた諸条件の制約から生活・産業・医療等の高度化が立ち後れている。 今後は、観光産業との連携を推進するため、生活環境整備と一体化した農業基盤整備の実施を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☑	①鳥獣被害防止対策	☑	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☑	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☑	⑩その他

【選択した上記の取組内容】
①イノシシ等の鳥獣害被害が拡大しないよう行政と協力して防除対策を進める。
②環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を進める。
⑩観光産業との連携を推進する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目

6　目標地図（別添のとおり）

7　基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

目標地図

地域計画区域

